

七尾祇園祭

「日本遺産 灯り舞う半島 能登」熱狂のキリコ祭り。この言葉を聞いたことがあるだろうか。4月24日(金)、能登の夏祭りの特徴であるキリコ祭りが日本遺産に認定された。夏、能登の約200カ所でキリコ祭りが開催されている。七尾では、キリコより奉燈という呼び名の方が親しまれているかもしれない。7月の互市祭を皮切りに、七尾祇園祭、塩津かがり火恋祭り、能登島向田の火祭、石崎奉燈祭など、週末は各地で奉燈が乱舞し、迫力ある祭りが繰り広げられている。

7月11日(土)23時、今年も大地主神社に口基の奉燈が集結した。大地主神社の夏祭りである七尾祇園祭だ。「ヨイヤサッカサー」の掛け声のもと、松明の周りを勇壮華麗に回る様は、祭の番の見せどころ。日中の炎天下の記憶がまだアスファルトに残る熱帯夜の中、若衆たちは止めどなく流れる汗を拭いつつ、体全体を使い奉燈を担ぎ通した。

